

科目コード	R7031	科目名	義肢学（演習を含む）				
履修区分	必修	開講期	3年前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	渡邊 哲也						
授業の概要	講義では、義肢を下肢の義肢(義足)と上肢の義肢（義手）に分類し解説する。切断者のリハビリテーションについて概説したのち、断端ケア及び切断者の心理面のケア、切断高位別義肢の種類・構造・機能・適合判定・制御などの基本的な知識を学修する。						
DPとの関連	平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						-
	修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						
	高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						
	地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						-
	DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 臨床現場において応用できる最低限の知識を得る。 切断者に対するリハビリテーションについて説明し、断端ケア、義手の使用・訓練、チェックアウトを実施することができる。 						
履修上の注意事項	義肢の取り扱い及び管理を適切に行うこと、物品の使用については衛生管理を適切に行うこと、メディアの使用は指示された場合以外は使用しないこと						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	オリエンテーション・義肢概論				切断者の実際について様々なメディアを視聴し、予備知識を習得しておく	
	2	切断の分類				教科書P4～10を確認し、切断についての概要を把握すること	
	3	切断部のケア・弾力包帯の巻き方				プリントを確認して巻き方の手順を理解すること。またプリントを見ずに巻くことができるようにすること。	
	4	義手の分類				教科書P12の4つの義手について、目的を確認しておくこと	
	5	義手を構成する部品と構造				各義手の継手、ソケット、ハーネス、手先具について確認しておくこと	
	6	コントロールケープルシステムと操作				教科書P23、24に記載されているコントロールケープルシステムについて構造を確認すること	
	7	義手の訓練の流れ				教科書P33～、P49～の症例から、訓練の実際を確認しておくこと	
	8	前腕義手 チェックアウト				前腕義手のチェック項目を確認しておくこと	
	9	前腕義手 チェックアウト				不適合時の原因について確認しておくこと	
	10	上腕義手 チェックアウト				上腕義手のチェック項目を確認しておくこと	
	11	上腕義手 チェックアウト				不適合時の原因について確認しておくこと	
	12	筋電義手				筋電義手の実際について様々なメディアを視聴し、予備知識を習得しておく	
	13	義足概論				教科書P88～101において義足を学ぶポイントを確認しておくこと	
	14	まとめ・課題演習				国家試験の問題に対応できるよう知識の再確認をお行うこと	
15	まとめ・課題演習				国家試験の問題に対応できるよう知識の再確認をお行うこと		
成績評価方法	期末試験100% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	義肢装具学 15レクチャーシリーズ 作業療法テキスト・種村留美、白戸力弥、石川 朗（中山書店）					978-4-521-75049-1	
参考書							
教員からのメッセージ	切断者の疑似体験は難しいため、様々な文献を読み、切断者・義肢装着者のイメージをつけておくと、講義内容の理解が進みます。						
教員との連絡方法	別途、オフィスアワーを指定します。						
実務経験のある教員							